

あまみの風

不定期

発行元
協力

天見地域まちづくり協議会 会長 原五郎
河内長野市役所（自治協働課）



健康ウォーク大盛況

清水惣代の森を巡る

地域住民が力を合わせて地域課題の解決に取り組む天見地域まちづくり協議会が今年も健康ウォークを開催した。

開催日となった12月19日はあいにくの雨。それでも30名を超える参加者が集まり、遠くは大阪市内や堺市内からの参加も見られた。

この日は、千早口駅から清水惣代地区までを往復し、最後は地蔵寺の門前で記念撮影。小雨が降りしきる中、参加者は、朝の某テレビドラマなどでロケ地になった清水の森を巡り、撮影時のエピソードなどを聞き入っていた。

惣代の棚田は、近頃、撮影スポットとしても有名で多くの人が訪れる。石仏城の麓あり、周囲を山に囲まれている。

るため、「隠れ里」ともいわれる。

また、地蔵寺は、延命寺を再興した浄厳和尚の甥で弟子である蓮体和尚が元禄4年（1691年）に再興したといわれる。彼は布教活動に熱心で、周辺の村民にたいへん親しまれたとか。領主である西代藩主の本多忠純が訪れ、地蔵寺に「九華山」の山号を贈ったといわれている。秋は紅葉が美しいのだが、残念ながらすでに散っていた。

なお、この日は石見川で古民家再生に取り組むユーチューバー「ジモトカフェ」のメンバーも参加しており、清水地区の魅力を実感したとのこと。その模様が配信されている。



天見小の放課後

天見地域まちづくり協議会では、昨年4月から、天見小学校で放課後学習会に協力している。早く授業を終えた低学年児童を対象に、住民ボランティアが1時間ほど見守りを行っている。

これにより、低学年と高学年が一緒に下校でき、学校や保護者の負担軽減にもつながっているようだ。

ボランティアを募集中なので、詳細は天見小（☎68-8004）へ。

地域の未来のため

このほど、市の第5次総合計画の後期基本計画地域別計画が見直された。

天見でも、一昨年に地域別計画の見直しに向けたワークショップが数回開催され、多くの住民が意見を述べていたが、下記のとおり策定された。

そこで、未実施となっている農林業の体験や販路拡大、空き家の活用、若者が集う場づくり、子育て世代の転入促進などの実施を検討したい。

協力できる住民は、メールでご相談を。（terumici0822@gmail.com）

見直し後の地域別計画

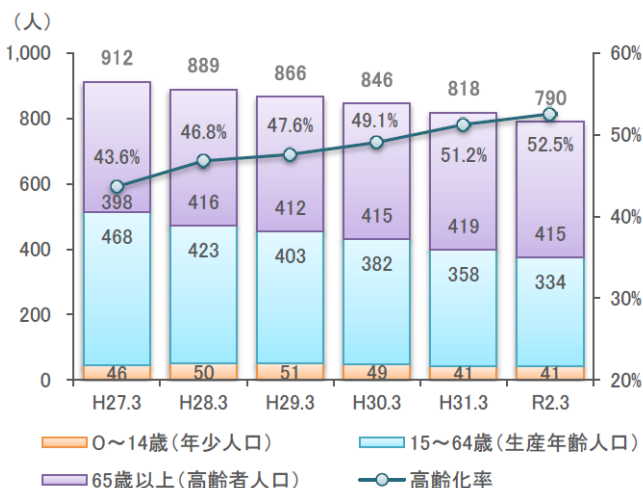
地域のめざす将来像

豊かな自然を身近に体感！ 夢と活力を未来につなぐまち 天見

No.	地域づくりの目標	主な取り組み・活動
1	豊かな自然など、地域の魅力を活かしたまちづくり	- 自然や歴史など、地域資源を活かしたイベント等を開催し、<u>さまざまな団体が連携して一体感をつくり、地域の活性化につなげる</u> - 田舎の生活や農業、林業を体験できる取り組みを行う - 空き家を活かした取り組みを進める <u>多様な団体が</u>様々な情報媒体を通して地域の取り組みや魅力を発信する
2	若者に魅力的なまちづくり	- 若者や子育て世代を地域で支える仕組みをつくり、<u>若者が集まれる場づくりを行う</u> - 地域ぐるみによる教育環境の充実を図る - 子育て世代をターゲットとした転入促進の取り組みを行う
3	人や地域がたくましくなるまちづくり	- 高齢者を支える仕組みの充実を図る <u>地域ぐるみでの見守りや支え合いにより、防災や防犯など安全・安心につながる取り組みを行う</u> - 担い手の育成や販路の拡大など、農林業の活性化を図る <u>他の地域との交流を通じて、情報の集約・共有や人の交流、人材を発掘する仕組みや場をつくる</u>

※太字、下線箇所は、今回の見直しで追加・修正したもの

【年齢3区分別人口と高齢化率の推移】



【世帯数と1世帯あたり人員の推移】

